



消防団協力事業所が10社に

市では、消防団と事業所との協力体制の強化、消防・防災体制の充実強化のため、消防団協力事業所を認定しています。この度、山陰酸素エンジニアリング株式会社安来営業所が新たな協力事業所になりました。

5月15日に認定のプレートを受け取った同社の名和川映夫安来営業所長は「地域でがんばる社員を応援していきたい。消防団活動がしやすいよう就業規則の見直しなども検討したい」と話していました。



消防団協力事業所（名称略）

- ▼(有)中田建設▼(株)伯水工務店▼山陰温調工業(株)安来営業所▼(株)コンドウ▼アクアシステム(株)▼(株)大島工務所▼安来運送(株)▼丸永建設(株)▼(株)渡部工務店▼山陰酸素エンジニアリング(株)



▶白衣に着替えて院内を巡回しました。

「安来のおじ」が一日看護部長

ナイチンゲールの生誕にちなみ制定された「看護の日」のイベントを5月17日、市立病院で開催。血管年齢測定などの健康チェックや看護師の職場紹介のパネルコーナーなどが設けられ、多くの人で賑わいました。

また、この日は一日看護部長に「安来のおじ」さんを任命。看護師の就労状況等の説明を受けた後、早速院内を巡回していました。「病院は快適ですか」など、患者さんに声を掛けながら病棟を訪れ、歌のリクエストにも応えていました。

図書館に防犯カメラ設置

5月18日、犯罪抑制や市民の安全確保のため、防犯カメラを安来市立図書館と和鋼博物館の駐車場に設置しました。

この防犯カメラは、安来十神ライオンズクラブより防犯活動の一環として市へ寄贈いただいたもの。カメラは図書館の2階部分に設置され、駐車場全体を映し記録します。

同クラブの大和博見会長は、「防犯カメラは犯罪抑制・事故の解決などの役割を果たす。安心で住みよいまちづくりに役立ててほしい」と話していました。



▶廃止措置計画の説明を行う原子力規制庁の職員。

廃止措置計画認可等の説明会

安来市と出雲・雲南市は合同で、認可を受けた島根原子力発電所1号機廃止措置計画の説明会を県庁で開催しました。会では、同計画を審査・認可した国の原子力規制委員会の担当者が廃止計画の内容や工程を説明。核燃料物質の管理や汚染の除去方法など、認可した判断基準などを示しました。

市では今後、今年1月に中国電力株式会社と安来市ほか2市が締結した協定に基づき、同社からの説明を受ける予定にしています。



▶運用開始式に出席した大和会長（右）、近藤宏樹市長（中）央、丸本到安来警察署長。